

門松づくり講習会

～伝統芸能の継承～



門松づくり講習会

今日の日本では伝統工芸産業の需要の減少や後継者不足など、伝統文化の衰退が大きな問題になっています。

伝統文化は私たちのルーツ、そしてアイデンティティを知る際に大きな手がかりになります。どのような歴史を経て、どのような精神文化をもち、現在の自分達の生活や人生にどのように関わってきたのかを知ることが、豊かな人生を送るのに大切ではないでしょうか。

千葉県造園緑化協会では、多くの方々に伝統技能に触れる機会を提供したいと考え、一般市民の方々を対象に「ミニ門松づくり講習会」そして会員企業対象に「門松づくり講習会」を毎年開催しています。会員企業が作った門松は、千葉県庁をはじめ千葉県こども病院、千葉リハビリテーションセンターに寄贈させてい



ミニ門松づくり講習会

ただいています。会員企業の中でも門松制作は初めてという方が何人も参加し指導員と一緒に制作に取り組みました。

「ミニ門松づくり講習会」で作成するミニ門松は、本格的なもので本物の藁を使って編み込みもします。実物の門松と作成方法もほとんど変わりません。出来栄え、作りごたえも十分です。老若男女19名の参加者の方々は講習時間3時間、講師の指導、手ほどきを受けながら、黙々と作業に取り組んでいらっしゃいました。それぞれ満足した様子で自分の作った門松を抱えて帰っていく姿を見た際には、主催者である私たちも達成感を感じ「今年も開催してよかった」と改めて思うことができ、伝統芸能文化を広めることに少しでも貢献できたことを嬉しく思います。

門松は一年の幸福をもたらしてくれる神様が家に来るための目印となる正月飾りです。門松が皆様の新しい一年に幸福をもたらしてくれること願っております。

(技術委員 大久保裕昭)



千葉県庁庁舎



千葉県こども病院